

同じフロアで業務開始

さつま町担い手支援室

4月24日、さつま町担い手支援室ワンフロア化協定書署名式が行われました。

近年、本町の農業構造の現状は、農業従業者人口の減少や高齢化の進行、耕作放棄地の増大など、集落の農業、農地をどのように守っていくのかが重要な課題となっています。

これらの課題を解決するため、町役場職員とさつま農協職員が同じフロアで認定農業者の確保や集落営農の組織化など、担い手の育成を効率的に進めるため、町役場内に担い手支援室が設置されました。

同じフロアで業務を行うのは、県内でも初めてであり、全国的にも珍しく他の活動団体からも注目を集めています。



さつま町観光協会発足

4月26日、「さつま町観光協会設立総会」が行われました。

これは、4月1日に旧3町の観光協会が合併したことにより開催されたもので、規約の制定や役員を選出、平成18年度事業計画・予算の審議が行われました。

今後は、町の観光振興発展に大きな力を発揮されるものと期待されます。



○役員体制(任期2年)

会長	淵之上三男	(宮之城地区)
副会長	上大迫重規	(鶴田地区)
監事	山本求道	(薩摩地区)
	舟倉武則	(宮之城地区)
	小久保清孝	(鶴田地区)
理事	宮之城地区12名	
	鶴田地区 4名	
	薩摩地区 4名	
会員	228名(4月26日現在)	(会長・副会長含む)

春の交通安全キャンペーン

4月26日、宮之城農業高等学校と薩摩中央高等学校の農業クラブ役員、生徒会役員、交通委員、47人の生徒が春の交通安全キャンペーンを行いました。

当日は、あいにくの雨でしたが、生徒たちは、マリーゴールドの苗とチラシ、折り鶴を飾り付けた安全運転を呼び掛けるしおりを手に、「安全運転をお願いします」とドライバーの方々に呼び掛けていました。

農業高校の段祐一朗生徒会長は「今日のキャンペーンでドライバーの方々が少しでも安全運転に気を付けて頂ければ」と話されました。



鶴田地区案内看板が完成!!



鶴田地区案内看板が完成!!

4月29日(土)、さつま町鶴田地区浦川内公民会で、広域農道ほたる大橋近くに完成した案内看板の完成式が開催され、集落で記念撮影が行われました。

これは、平成17年度鶴田地区の地域活動支援事業の一つで浦川内公民会が中心となり取り組みました。樹齢80年以上の杉の木を地元の所有者が提供し、伐採・加工・塗装など地元住民で行い、案内板や道標など作成しました。

広域農道開通に伴い交通量の増加も予想されることから、付近の地理案内に役立つことが期待されます。